

			部会名	暮らし部会	
施策No.	2-5-1	施策名	地域福祉の推進	施策主管課	地域福祉課
施策の目指す姿		地域の住民が共に助け合って生活しています			
<p>■ 施策評価シート(平成29年度実績評価)について</p> <p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。 平成29年度に実施した民生委員へのアンケート調査に関する分析は平成30年度に持ち越しているが、概要だけでも分析しておけば課題が明らかになったのではないかと。分析の結果、例えば、「現役世代への相談機関の周知方法」についても、困りごとへの対処なのか、困る前の予防なのか、どこに重点を置いて相談窓口をつくれれば良いのかが具体的に見えてくるのではないかと。</p> <p>「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 ほかの施策でも同様のことがあったが、「新たにに取り組むべき事業」等の項目を「なし」とする理由について記載されていればわかりやすい。ただし、本施策の場合、民生委員へのアンケート結果の分析を踏まえた新たな課題を「新たにに取り組むべき事業」として挙げるべきである。 評価は行われているが、具体的な取組が書かれていない。事務事業評価シートにおいても同じである。例えば、情報発信について、「引き続き検討する」だけではなく、相談窓口を知らない人へどうやって発信していくのかまで掘り下げて記載するべきである。 成果指標「悩みや問題を抱えたときに相談できるところを知っている市民の割合」に使っているアンケートの設問について、相談窓口を知っていると答えた人に対し、「どういう方法で知りましたか？」と掘り下げれば、具体策が出てきて次のステップに進めるのではないかと。</p> <p>「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか。 成果指標がアンケート結果だけでは不十分である。また、アンケートの設問についても、上記のように再検討が必要である。 さらに、現状では、アンケート結果の分析のみで背景・要因の記載がない。これまでの取組を含めて記載すればわかりやすいし、民生委員へのアンケート結果の概要を入れて違う角度から分析する手法もある。</p> <p>「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 「課題」に「相談件数については伸びが見られない」と記載されているが、相談した人の満足度や改善度が成果であり、相談件数の多寡では測ることができないのではないかと。 さらに、「連携」という言葉が出てくるが、具体的にどのように改善するのが記載されていない。現状を整理すれば、地域のつながりについての課題、個人情報管理に関する課題などがあるはずであり、その取扱いの検討や条例の整理などはまさに行政の役割である。</p> <p>●シート記載内容全般について (特になし)</p>					